

## 別記様式（第4条関係）

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度宍粟市上下水道事業経営審議会（第2回）	
開 催 日 時	令和5年3月30日（木）15時00分から16時30分まで	
開 催 場 所	宍粟防災センター 5階ホール	
議 長（会 長） 氏 名	瓦田 沙季（県立大学教授）	
委 員 氏 名	(出席者) 片山 繁樹 木村 栄治 小林 晋八 春名 省吾 松本 則夫 岸本 京子 長野 委久子 山國 和志	(欠席者) 中本 弘美
事 務 局 氏 名	太中部長、石垣次長、坂井次長、小池課長、中田副課長、大谷係長、石原主査	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	公開・非公開	(非公開の理由)
決 定 事 項	(議題及び決定事項) 宍粟市下水道事業の概要について説明 令和3年度決算状況（下水道会計）について報告	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等		

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
委員	<p>1 開会 2 部長あいさつ 3 会長あいさつ 4 審議事項     (1) 下水道事業概要及び令和3年度下水道事業決算について     －令和3年度決算状況報告について事務局より報告－     災害復旧費について、決算額が0円となっていますが、災害が無かったということですか。</p>
事務局	<p>大きな災害が無かったため、災害復旧事業は行っていません。</p>
委員	<p>令和3年度は前年度より有収水量が増加していますが、人口減少によって減少するものではないのですか。</p>
事務局	<p>基本的には人口減少に応じて減少するものですが、人口が減少しても世帯数が増加していたため、有収水量が増加しているものと考えられます。近年は水道も同じように有収水量が僅かに増加する傾向にありましたが、増加量が減少していることもあり、今後は有収水量が減少していくものと考えられます。</p>
会長	<p>加入分担金が計上されていることから新規加入の状況がうかがえますが、年間に何件くらいの加入申込がありましたか。</p>
事務局	<p>令和3年度には24カ所、令和2年度には25カ所、令和元年度は28カ所の公共枮を設置しました。</p>
会長	<p>事業用はどれくらい含まれますか。</p>
事務局	<p>事業用と家庭用を区分していませんので、具体的な割合は把握していませんが、ほとんどが家庭用となっています。</p>
会長	<p>加入分担金と受益者負担金、また工事負担金の内容の違いについて説明をお願いします。</p>
事務局	<p>流域下水道の区域では、土地1㎡あたり700円の受益者負担金を徴収し、それ以外の区域では1口350,000円の加入分担金と、公共枮設置工事費の半額を工事負担金として徴収しています。</p>
委員	<p>資本費平準化債の収入について、減価償却費との差額との説明ですが、実際に現金を伴う収入ですか。</p>
事務局	<p>現金を伴う収入です。平準化債を借入れして、企業債の元金を償還しており、実際には借換えに近いものです。</p>
会長	<p>減価償却費と元金償還金に差額が生じているということは、耐用年数と償還期間に差が生じているということだと思いますがどうですか。</p>
事務局	<p>耐用年数の最も長いのは管渠などの60年ですが、起債の償還期間は最大でも40年間となっているため、その期間に差が生じています。</p>

発言者	議題・発言内容
会長	減価償却費よりも起債償還金が大きく上回っていますので、赤字補てんなど、建設改良費以外にも起債を借りていることはありますか。
事務局	起債は建設改良費を対象としたもののみ借り入れています。赤字補てんには、一般会計からの基準外繰入を実施しています。
委員	接続率の計算は人口と世帯、いずれの数値を元に算出しているのですか。
事務局	人口を元に算出しています。
委員	下水道の長寿命化計画とは、どういうものですか。
事務局	効果的に機器を更新していくことで、施設全体について耐用年数を超えて使用していくための計画です。
委員	資本的収入不足額は留保資金で補てんしたとありますが、積立金のようなものですか。
事務局	現金支出を伴わない減価償却費を費用計上することで生じる、いわゆる損益勘定留保資金を示します。
委員	施設の老朽機器更新とは具体的には何を更新されたものですか。
事務局	主に、施設内の制御盤の更新を行ったものです。
委員	下水道の整備は終了しているのに、企業債償還金が増加しているのはなぜですか。
事務局	下水道を当初に建設した際に借り入れた企業債は償還額が減少していくのですが、資本費平準化債の償還があるために、償還額の全体としては増加しているものです。
委員	企業債の中には、市中銀行以外の金融機関からの借入があり、他と比べて利率が高いのですが、これはどういったものですか。
事務局	これが資本費平準化債として借入れを行っているもので、建設当初に利用する政府系資金よりも利率が高くなっています。
会長	施設の長寿命化のためには、耐用年数を超えて施設を使用することになりますが、耐用年数の何倍などの基準を決めているのですか。
事務局	長寿命化計画を策定する前に、それぞれの施設の診断を行って、更新すべき機器を判断しています。
会長	長寿命化計画があるということは、市内の施設についてはすべて診断が終わっているのですか。
事務局	特環区域については全体的に診断が終了していますが、農排区域については、建設年次に応じて処理区ごとに順番に診断を行っています。

発言者	議題・発言内容
会長	計画の中ではいつまで機器を長持ちさせるのは定めていないのですか。
事務局	まず、その機器が止まれば処理を行えないような重要な機器については、計画的に更新を行いますが、ポンプ等、非常用に備えて2基設置しているような機器は壊れるまで使うこととしています。
委員	県内の状況で、未整備というのは、汲み取り等で対応しているものですか。
事務局	未整備区域については汲み取り等で対応しているものと考えられます。兵庫県の整備率は非常に高く、東京に次いで全国2番目の整備率となっています。
委員	西播磨の整備率は99.8%となっていますが、市内の整備率はどうなっていますか。
事務局	これは、処理計画区域に対して整備を完了している率を示しますので、市内では整備率は100%となっています。 ただし、整備後も下水道に接続されていない方がおられますので、水洗化率としては95.31%となっています。
会長	コミュニティプラント事業については、他の自治体では下水道に統合しているところもありますが、宍粟市の状況はどうですか。
事務局	流域下水道に接続したいと考えていますが、全体の処理能力のこともあり、構成市町との協議を行っている最中です。
会長	処理場を統合する方が費用は安くなるという認識でいいですか。
事務局	処理場を統合する際には、管渠等も含めて更新する必要がありますが、更新時期における処理人口などにより費用が異なるため、一概に統合するのが費用削減につながるという訳ではありません。 今のところ11の処理場については統合することができるのではないかとこの統廃合計画を策定しています。
会長	統廃合計画は策定済みという認識でいいですか。
事務局	統廃合計画は策定していますが、その建設に対しての国庫補助等の財源についても令和5年度には精査する予定としています。
会長	宍粟市の管内図では小規模排水処理事業がないのですが、どこにありますか。
事務局	鷹巣（別所）地区が小規模排水処理区域に当たります。
会長	収支均衡となっていますが、基準外の繰入を行っており実質的には赤字の状況にあります。これは下水道事業の課題として認識されていますか。
事務局	基準外繰出に頼っている点が下水道事業の課題と考えています。

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>(2) 下水道事業経営戦略策定部会委員の選出について</p> <p>令和5年度に、下水道事業の経営戦略を改定する予定としており、今のところ、令和5年10月頃を目途に、経営戦略の素案を作成し、経営審議会の中に設置する策定部会において内容について審議いただきたいと考えています。</p>
会長	<p>経営戦略の策定については総務省から強い要請が出されているところですか。いつまでに改定する必要があるのですか。</p>
事務局	<p>令和6年度末までに改定する必要があります。</p>
会長	<p>まずは作業部会のような形式で、経営戦略のたたき台を審議して、素案として固まってから経営審議会において審議することになると思います。</p> <p>委員の方には、審議会と別に部会に参加いただくことになり負担をかけますが、立候補していただける委員はおられますか。</p> <p>(立候補なし)</p> <p>事務局から提案はありますか。</p>
事務局	<p>事務局からは、瓦田会長・松本副会長・小林委員・長野委員の4名に部会委員をお願いしたいと考えています。</p>
会長	<p>事務局から提案がありましたが、委員の皆さまいかがですか。</p>
小林委員	<p>少し荷が重い気がしますが、お受けします。</p>
長野委員	<p>お受けします。</p>
会長	<p>この4名でまずは経営戦略のたたき台を審議して素案を作成し、経営審議会に諮るという流れで作業してよろしいでしょうか。</p> <p>(他の委員からの異議なし)</p> <p>では策定部会において素案の作成まで進めていきたいと思います。</p>
委員	<p><b>5 その他</b></p> <p>(兵庫県内の下水道使用料の状況について説明)</p> <p>地形的なことを考えると、水道料金や下水道使用料が高くなるのはやむを得ないと思います。上下水道は高いけれど、宍粟市には豊かな自然などのいいところもたくさんあります。なかなか、いいことばかりにはならないというのが現実かなと思います。</p>
会長	<p>全国的にも、中山間地域では人口減少が進んでおり、水道料金が高くなってしまいう傾向にあります。</p>
委員	<p>水道料金の改定も行いましたが、人口減少が進む中で、また値上げを実施しなければならなくなるのか。</p>
事務局	<p>10年程度は経営を維持できる水準で料金を設定していますが、社会情勢などの環境の変化に対応するためにも、5年後には状況の確認と料金の検討を行うこととしています。</p>

発言者	議題・発言内容
委員	水道料金に引き続いて下水道使用料を増額させるとなると大変だと思う。
会長	<p>民間が経営している電力会社などでは、効率的な経営の元でも、値上げを実施しています。物価や人件費が高騰している社会情勢の中で、上下水道料金だけが増額せずに存続していくことは難しいのではないのでしょうか。</p> <p>水道ビジョンの中で立てた収支計画も、当時の状況の中では 10 年間は経営を維持できる水準でしたが、世界的に社会情勢が大きく変化しており、場合によっては次の改定時期が早まることもあり得ると考えられます。</p>
委員	施設に余剰を生じる処理区とはどういう意味ですか。
事務局	処理能力に余剰を生じるという意味です。建設当初は当時の人口を元に施設を建設しますので、例えば1日100トンの汚水を処理できる施設を建設しますが、人口減少により汚水量が減少し、現在では1日60トンの汚水を処理している場合には1日40トン分の処理能力の余剰が生じていることとなります。
委員	コミュニティプラント事業を一般会計で会計処理しているのは何故ですか。
事務局	特別会計とした場合には、消費税の納税義務が生じるため、一般会計にて会計処理しています。
委員	流域下水区域では、1㎡あたり700円の受益者負担金、それ以外では35万円の加入分担金と工事負担金を徴収しているということですが、公平性に欠けるのではないのでしょうか。
事務局	流域下水区域は、都市計画税を負担していた区域であり、加入申込が無くても受益者負担金を納付する義務が生じます。損得の比較は難しいです。
会長	<p>いつまでコミュニティプラント事業を一般会計で会計処理できるのか。下水会計に統合した場合には、経営が悪化することが考えられます。また、宍粟市は独自財源も少ないでしょうから、一般会計も非常に厳しい状況が続くと考えられます。国の財政状況は、地方よりも厳しい状況にありますので、今後は地域独自に生き残り作戦を考えていかなければならないと思います。</p>
<b>6 閉会</b>	